

史跡芥川城跡（三好山）から摂津峡の紅葉散策ハイキング

活動報告 担当 3班

戦国大名の三好長慶が、実力で天下(当時の畿内)の支配を開始し、居城とした三好山(通称城山 標高 182m)に築かれた山城である芥川城跡を探訪。当時の山間と平野をつなぐ交通路や河川を監視できる地勢的な要衝に位置しています。



当日は緩やかな山道の中、途中スズメバチに行く手をさえぎられるも、約 1 時間自然を感じながら歩くと頂上に到着。頂上の城跡には、堅土壘・石垣などの遺構を見ることができました。

摂津峡桜公園からもみじ谷への散策は、スズメバチの影響で入山禁止。それでも美しい摂津峡の紅葉を満喫し、歴史と自然を感じる時間となりました。

【日 時】2025年11月21日(金) 【天 候】晴れ 【参 加 人 数】62人

【集合場所】JR高槻駅北中央改札口

【行 程】市バス上の口行(9:44・9:55)2便に分乗⇒上の口バス停下車⇒芥川城跡登山口⇒三好山(182m)・芥川城跡⇒大手門石垣⇒千念院⇒摂津峡桜公園⇒塚脇バス停解散(13:30)

『所感』

- ◆芥川城跡(三好山)からの大阪市街地や生駒山脈の眺めが素晴らしかった。
- ◆新しい石垣は普段よく見ているが城の古い石垣が見られてよかったです。
- ◆スズメバチとの遭遇などの異常事態発生時の、安全確保に向けた迅速な情報伝達に、トランシーバなどの積極的な活用を再認識させられました。
- ◆山道ではヤブムラサキ・コバノガマズミ・サルトリイバラの美しい実に魅せられ周りは紅葉・黄葉の見ほうだい。気持ちの良い1日だった。
- ◆下見の時は木や雑草で隠れてほとんど見えなかった石垣がきれいに整備されていて見られたのがよかったです。



摂津峡桜公園の紅葉



大手門石垣

初期の段階の石垣で
中世山城の石垣の典型



やれやれ、三好山到着



「中崎さん、よろしく」との声
に、芥川城跡の説明を笑顔で